

宇都宮市国際化推進計画【概要版】

I 計画の策定に当たって

1 計画の基本的事項

- 策定の趣旨
 - 在住外国人の増加・定住化の進展に伴う多文化共生社会の形成、グローバル化を踏まえた都市交流のあり方、都市の国際化への対応が必要となっており、こうした課題に適切に対応し、具体的・実効的なプランとして計画を策定する。
- 位置づけ 宇都宮市総合計画基本計画の分野別計画
- 計画の期間 平成21年度から平成25年度までの5年間

II 国際化をめぐる現状と課題

1 現行計画からの現状と課題

- 拠点施設の整備や相談業務などの在住外国人との共生にかかる取り組みを行ってきたが、言葉やコミュニケーションに関する意識の壁が依然として大きい
- ⇒相互理解と在住外国人のコミュニケーション支援の仕組みが必要
- ⇒地域における多文化共生の取り組みを行うことが必要
- ・市民主体の国際交流活動に対し、様々な情報提供や支援をしてきたが、多様化するニーズ、課題に対し、一層の支援や連携が必要となっている
- ⇒ボランティア・市民活動の支援強化
- ⇒関係機関・企業・NPOなど多様な主体との連携・強化

2 社会変化からの現状と課題

- ・在住外国人の増加と定住化
- ⇒在住外国人との相互理解の促進、多文化共生社会に対する日本人の市民への意識啓発
- ・国・県の指針・計画との整合性
- ⇒国際化に関する施策の整合、連携強化
- ・協働化の進展
- ⇒市民・行政・企業・ボランティア団体などとの課題の共有、役割分担の明確化、連携強化
- ・企業・市民活動等のグローバル化、文化、スポーツ等の交流の活発化
- ⇒都市の価値を高めるための情報発信・基盤整備
- ⇒海外都市との互恵性のある交流の進展
- ・地球規模的課題への対応
- ⇒国際的な課題の解決に寄与できる都市としての取り組み、貢献

3 市民意識調査からの現状と課題

- ・国土交通省による北関東圏の外国人集住地区への実態調査（H18）
- ・市民意識調査（H19実施）
共生社会の実現に当たっては言葉やコミュニケーションの壁が大きいと感じる回答が上位。
- ・外国籍市民アンケート調査（H20実施）
日本人との交流意向、定住意向は高い。交流機会の充実や医療・福祉等の生活情報のニーズが高い。
- ⇒日本語学習への支援、在住外国人の生活に密着した分野の情報の多言語化、相談窓口の充実などのコミュニケーション支援
- ⇒日本人との交流機会の充実、地域活動への参画促進など、地域主体での取り組みの充実、コーディネーター・リーダーの育成

現行計画の評価・社会情勢・市民意識調査から課題抽出

III 国際化をめぐる課題のまとめ

1 多文化共生に関する分野

- コミュニケーションの促進
- 在住外国人に対する生活支援の充実
- 多文化共生の地域づくり
- 多文化共生の仕組みづくり

2 国際理解・国際交流に関する分野

- 国際理解のための相互交流機会の充実
- 海外都市との互恵性のある交流の進展
- 国際交流に関わる市民活動の支援
- 市民・行政・企業・ボランティア団体など各主体の課題の共有・連携

3 都市機能に関する分野

- 都市の価値を高める情報の発信と環境の整備
- 国際化を担う人材の育成
- 国際的な課題解決への取り組み

主要課題から基本目標を設定

IV 計画の基本理念 多文化共生の地域社会と世界を視野に入れた国際都市の実現

V 計画の基本目標

基本目標 I 誰もが暮らしやすい多文化共生の地域づくり

成果指標:「宇都宮市にずっと住みたい」と感じる在住外国人の割合
【H20 47.7% ⇒ H25 55%】

言葉や生活習慣、文化の違いを超えて相互に理解しあい、誰もが生活者、地域の一人として幸せに暮らせる多文化共生のまちが形成されています

基本目標 II 国際理解・国際交流のための環境づくり

成果指標:日本人と積極的に交流したいと考える在住外国人の割合
【H20 23.6% ⇒ H25 35%】

民間団体・地域・市民が主体的かつ積極的に海外との交流を行い、国際理解・国際交流活動が活発に進展しています

基本目標 III 国際化にふさわしい都市機能の整備

成果指標:宇都宮市が暮らしやすいと感じる在住外国人の割合
【H20 60.8% ⇒ H25 70%】

国際都市としてのハード・ソフトが整い、まちづくりを担う人材があらゆる分野で活躍しているまちが実現しています

VI 施策の展開

基本目標 I 誰もが暮らしやすい多文化共生の地域づくり

施策の方向 1 相互理解の促進

- 在住外国人のコミュニケーション支援
- 異文化理解の促進

施策の方向 2 在住外国人の生活環境の充実

- 在住外国人の生活支援
- 情報提供の充実
- 日本語学習支援

施策の方向 3 多文化共生の地域づくり

- 多文化共生に関する意識啓発
- 地域社会への参加促進

施策の方向 4 多文化共生の仕組みづくり

- 在住外国人の意見反映の仕組みづくり
- 関係機関との連携

(重点事業)

- ・会話サポートシステムの構築（新規）
- ・相談体制の充実
- ・ソーシャルコーディネーターの育成・支援（新規）
- ・外国人向け災害対策の充実（新規）
- ・情報手段の充実
- ・外国人児童生徒日本語指導事業
- ・多文化共生に関する意識啓発の充実
- ・地域事業への参加促進
- ・地域リーダーの育成・支援（新規）
- ・在住外国人意見交換会の実施（新規）
- ・関係機関との連携

基本目標 II 国際理解・国際交流のための環境づくり

国際理解・国際交流のための環境づくり

施策の方向 1 国際理解の促進

- 国際理解の促進
- 交流機会の充実
- 国際理解教育の推進

施策の方向 2 国際交流の促進

- 互恵性ある国際交流の促進
- 国際交流活動の支援
- 国際交流活動団体の支援
- 関係団体の連携促進

(重点事業)

- ・テーマを持った交流の促進（新規）
- ・民間団体の支援

基本目標 III 国際化にふさわしい都市機能の整備

国際化にふさわしい都市機能の整備

施策の方向 1 都市環境の充実

- わかりやすい情報提供の充実
- 都市の魅力の発信

施策の方向 2 国際感覚豊かな人材の発掘・支援

- 国際感覚豊かな人材の発掘・支援
- 国際化時代を担う人材育成

施策の方向 3 国際協力の推進

- 国際的課題への取り組みの充実
- 国際社会への貢献

(重点事業)

- ・各種情報の多言語化の推進
- ・国際経験・語学能力を有する人材の発掘・支援（新規）

リーディングプランの設定

☆基幹となる課題に対し、重点事業を中心に、横断的な視点から組み合わせたもので、計画全体を実現するための誘導的なプランとして構成

(1) コミュニケーション支援プラン

在住外国人が社会で活動していく上で、言葉やコミュニケーションの壁を取り払い、安心した日常生活を送るためのプラン

(2) 地域生活支援プラン

在住外国人と日本人の市民の相互理解が促進され、住んでいる地域で安心して生活を送るためのプラン

(3) 相互理解促進プラン

在住外国人と日本人の市民が互いの文化、生活習慣を理解し、交流を深め、同じ地域社会の一員として尊重し、相互理解を図るためのプラン

計画案の特色

- 交流から共生という流れを踏まえ、多文化共生の地域づくりに関する施策を充実させた
- 国際化に対応し、外国人のまちづくりへの参加・都市機能の視点を加えた
- 行政と市民や民間団体の役割分担のもと、国際交流活動の連携のあり方を整理した

計画の推進に向けて

(推進体制)

- ・市民、市民団体、企業、関係機関との連携・協力
- ・意見の反映
- (計画の進行管理)
- ・庁内における国際化推進委員会の設置
- ・在住外国人からの意見聴取の実施
- ・中間年次における進捗状況の公表